
さっちゃん物語

葵 景子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さっちゃん物語

【Nコード】

N7950A

【作者名】

葵 景子

【あらすじ】

ラブラブなパパとママを持つ皐は16歳。そんな彼女にもとうとう彼氏が！！？？

皐は今日で16歳。ママとパパはなんと、27歳。

今のママ達は、義理の親だけど、2人ともとってもスキ。

ママはパパにラブラブで、パパはママにメロメロなの。

そんな光景を見てるもんだから、皐は早く彼氏が欲しいんだ。

ママは、パパにいつも無謀で支離滅裂な事を言ったりするけど、天然すぎて可愛い。

パパは、そんなママが好きだから信じられてるならやるしかないな、って。

まあ、いつもそう言いつつママをはぐらかすだけなんだけど。

だから、そんなママ達みたいなラブラブカップルになりたいんだ。

(ちなみにママ達、夜の×××もこんな感じ。ワラ)

そんな事を思ってたある日、格好良い人を見つけたんだ。

それはまるで、ドラマのワンシーンみたいだったの。

「やーだ。今日はやりたくないのー。」

夜、ママがパパを拒んだるとき、あたしはもうラブラブっぷりに耐えきれなくてコンビニに行ったの。

そしたら、そこには。。。

すっごく格好良い人がいて、こっちをチラチラ見てたの。あたしもどっかで見たことがある人だったから、チラチラ相手を見てたの。そしたら、いきなり腕を捕まれて、夜の公園へ。

何事かと思つて、顔をよく見てみたら、それは、昔好きだった4つ離れてる男の子だったの。

びっくりして声を出せないでいると、急に服を脱がしてきて、体に顔を寄せてきて。

「いい香。香水付けてるの??」

彼が急にそんな事言うからびっくりして、何も言わなかったら、ブラにまで手を伸ばしてきて。

「いやっ。」

そう言ったら、あっさり服も着せてくれた。

「そっか。俺、昔からさっちゃん好きだったのにな。さっちゃんはもう違うんだ。」

と言って私の唇に彼の唇を重ねてきました。

柔らかくて、息遣いの荒い彼を見ているうちに、何だか愛しさがまたあふれ出てきて。

「じゃあ、付き合って。」

私は、小さな声で言いました。

そして今、晴れて彼と付き合う事になって、パパとママみたいなラブカップルになれるように、ママ達を見習って猛特訓中!!!!!!

この次は、水族館に行きたいな!!!!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7950a/>

さっちゃん物語

2010年12月15日02時53分発行